

2008年3月26日

報道関係者各位

住商情報システム株式会社

**住商情報システムは、データセンター需要が集中する都内に立地する
netXDC 東京第1センターを4月1日よりリニューアルオープン**

～「仮想化」によるオンデマンドサービスと省エネの実現～

住商情報システム株式会社(略称:SCS 本社:東京都中央区、代表取締役社長:阿部 康行)は、最適なITサービスをワンストップで提供するために、技術とノウハウを集結したソリューション指向データセンター「netXDC(network eXchange attached Data Center)」東京第1センターをリニューアルし、2008年4月1日よりサービスを開始致します。

リニューアル内容

昨今の内部統制、情報セキュリティ、環境問題などへのユーザー意識の高まりにより、データセンターの需要は顕著な伸びを示しています。一方で、データセンターに求められる要件はますます多様化し、ユーザーのTCO^{※1}を削減する為の様々なサービスが求められています。

netXDC 東京第1センターは「必要なときに、必要なだけ」をコンセプトに、最新の仮想化技術を取り入れることで、ユーザーのあらゆるニーズに対応する最新鋭の都市型データセンターに生まれ変わりました。

- ◇ 今回リニューアルを行った東京第1センターと中核に位置付けられた東京第2センターの2つのセンターを10Gbpsの高速回線で結び、それぞれの役割を明確に定義することで、パーティクルに1つのデータセンターとして効率的な運用を実現します。
- ◇ 最新のネットワーク技術により、オンデマンドにファイアウォール/ルータ機能を提供する「オンデマンド ファイアウォール/ルータ サービス」を始め、各種仮想化ネットワークサービスの提供を開始しました。これにより、お客様ごとにハードウェアとしてのファイアウォール/ルータ等を準備する必要がなくなり、維持管理コストの削減、機器の納期短縮を実現します。
- ◇ SCSの「IT 基盤ラボラトリー」では、現在、仮想化技術を中心とした新技術の研究、評価を実施しており、それらの検証結果を元に各種仮想化ソリューションをデータセンターのサービス

※1 TCO: Total Cost of Ownership コンピュータシステムの導入、維持・管理などにかかる費用のこと。

として実現、追加していく予定です。



東京第1センター外観

リニューアル詳細:

- 設備

- 2つの変電所からの2系統受電により、一般的なデータセンターが採用している、1つの変電所からの複数系統受電に比べて、信頼性の高い電力環境を整備しました。さらに自家発電装置を増強し、完全な無停電設備を実現しています。
- netXDCの複数センターをトータルサポートする統合監視機能「netXCC2」を大幅に増強しました。データセンターの大規模化に伴い、お客様のクリティカルな要求に、フレキシブルに対応できる体制を整備しました。
- グリーンITに関心が高まる中、環境に配慮した様々な省エネ設備を導入しました。低消費電力で排熱効率が高い空調機器や、人感センサーに連動した自動節電照明システムなど、最新鋭の環境対策が施されています。

- セキュリティ

- 高いセキュリティレベルを必要とするエリアには、センサーで人数を検知し、複数名での入退室を阻止する共連れ防止システム、「インターロックルーム」を導入しました。
- より高度なセキュリティを確保するため、ラックの鍵を生態認証によって個別に管理することができる、「ラックキー認証システム」を導入しました。

- インフラ環境

- 標準化された適切なプロセスで運用・管理がされていることを証明する、「オペレーション・トレースシステム」を導入しました。お客様のサーバ等で行う運用作業の履歴を画面イメ

ージで保管することで、内部統制などに必要な監査証跡の提供ニーズにも対応します。

提供開始時期

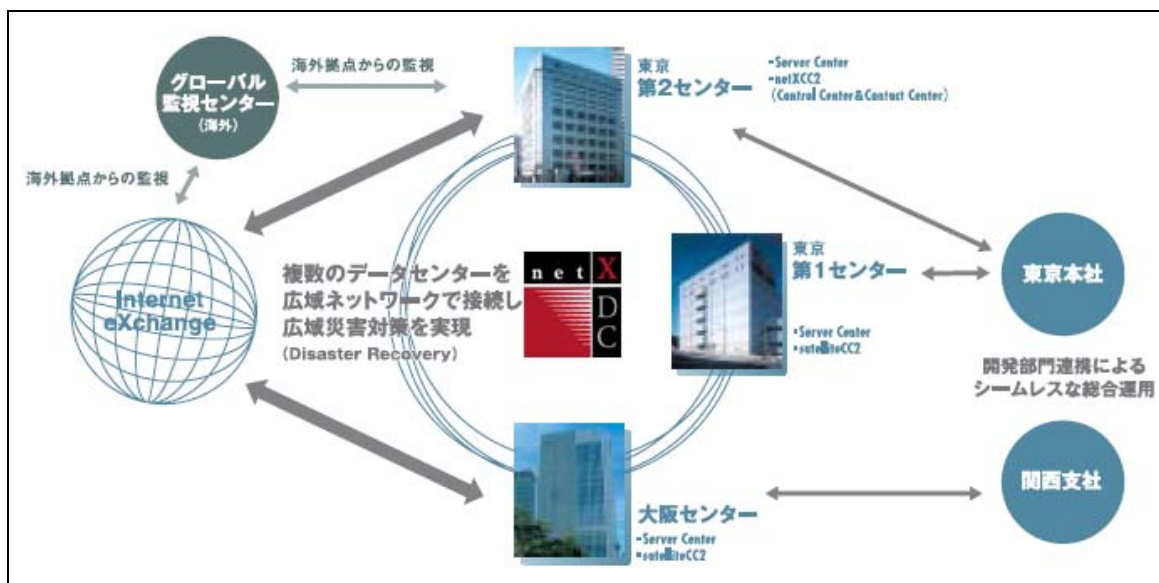
2008年4月1日(火)より

netXDC について

2001年10月に誕生した netXDC は、グローバルにビジネス展開するお客様のニーズに応えるために、ファシリティやネットワークの提供にとどまらない真の IT サービスをワンストップで提供する、ソリューション指向データセンターです。

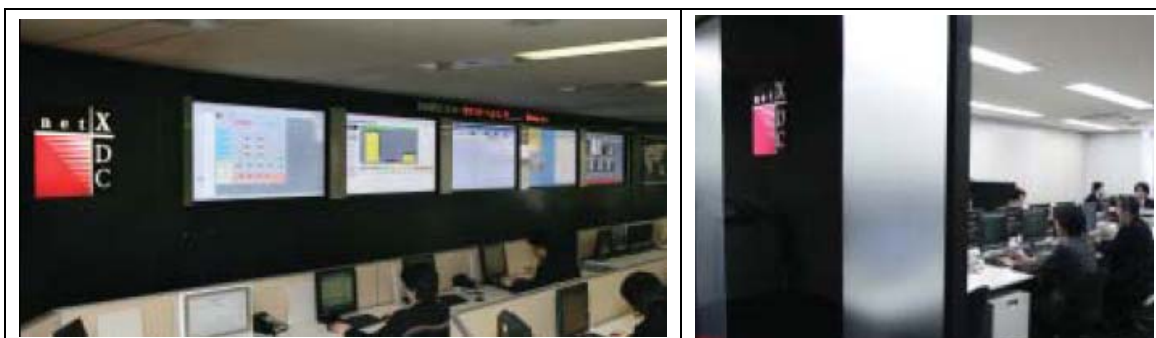
netXDC では、大幅な需要拡大に伴い、既存の東京第1センターの増床と設備面を增強し、より多くのお客様に netXDC の高度なサービスをご利用いただける環境が整いました。

- データセンターの枠を超えたソリューション
 - お客様のシステム環境を理解した上で、企画・設計から構築・運用にいたるライフサイクル全体をカバーするソリューションをワンストップでご提供します。
 - ◇ 事業継続管理(BCM)支援サービス
 - ◇ 災害対策支援(DR)サービス
 - ◇ グローバル監視サービス
 - ◇ データセンター最適化支援サービス
- 広域ネットワークで接続された複数のデータセンターを統合管理
 - 複数のデータセンターを統合的に運用することで、柔軟な拡張性、運用・監視の一元化、サービスレベルの均一化を実現し、ロケーションの違いを感じさせることはありません。



センター構成概略図

- 高品質／高信頼性の運用アウトソーシング
 - ITIL^{※2}ベースにプロセスを標準化した運用サービスのもと、お客様のシステム環境を理解した上での改善提案、運用コンサルティングサービスをご提供します。
 - 機器の監視や手順化されたオペレーション対応など定型的な運用を行う「ベーシック運用サービス」に加え、より高度な技術力・判断力を備えたアカウント SE による「アドバンスド運用サービス」をご用意しております。お客様のクリティカルなミッションに対して、「顔の見える運用」をご提供します。
 - コンタクトセンター機能とコントロールセンター機能を融合した「netXCC2」により、迅速かつ的確な対応を 24 時間 365 日体制で実現します。



netXCC2(コントロールセンター)

netXCC2(サテライトコントロールセンター)

※ netXDC の詳細はこちらの URL をご参照ください。 <http://www.netxdc.com>

本件に関するお問い合わせ先

【 製品に関するお問い合わせ先 】

住商情報システム株式会社	IT 基盤ソリューション事業部
	netX ソリューション第 1 部
	担当: 藤田、高野
	TEL: 03-5166-1914
	E-mail: netX@scs.co.jp

【 報道関係各位からのお問い合わせ先 】

住商情報システム株式会社	広報・IR 部
	担当: 栗岡、鶴木
	TEL: 03-5166-1150

※ 掲載されている製品名、会社名、サービス名はすべて各社の商標または登録商標です。

^{※2} ITIL: IT Infrastructure Library イギリス政府が策定した、コンピュータシステムの運用・管理業務に関する包括的なガイドラインのこと。